

つないで つむいで まちづくり

ユニークなメニューで学ぶ『夢の学習』

各町の中央公民館を拠点に体験活動を中心とした学習講座を開催している『地域で創る土曜日 夢の学習』。誰もが“生涯にわたり学びたい”“学び続けたい”という思いが実現できる、そして子どもから高齢者まで誰もが地域で活躍できる、そんな場をみんなで創っていくのが『夢の学習』です。皆さんも『夢の学習』に参加して、“学び”へのヒントを見つけてみませんか。



▲100以上の講座を実施してきました。(中央は1枚の折り紙で制作された作品)



▲これまで2度受賞された「滋賀県福祉学会奨励賞」

研究活動にも力が注がれています。課題解決へ向けた取り組みや、年齢や対象を限定しない『夢の学習』の活動が認められ、滋賀県福祉学会から研究奨励賞を受賞されました。

YUME GAKU 課題をいかにするための研究活動

- 家庭教育支援
- 子育て支援
- 市民講座
- サロン活動
- 相談活動
- 伝統文化親子教室
- 料理教室
- 地域学校協働活動

次年度への目標を明確にするため、研究活動にも力が注がれています。課題解決へ向けた取り組みや、年齢や対象を限定しない『夢の学習』の活動が認められ、滋賀県福祉学会から研究奨励賞を受賞されました。

YUME GAKU 行動することで新たな展望を

開始から5年が経過し、現在では年間109種類、延べ1,000回実施され、これまで多くの課題とも対面してきました。課題の解決に至るには難しいことでもあります。行動することで少しでも解決策や新たな展望が開けてくる。目標を持ち活動が継続されています。令和2年度は、主に次の事業を含む合計20のテーマを掲げた事業が実施されています。

YUME GAKU 課題との向き合い

当初は45種類の講座でスタート。参加した児童の中には、障がいや不登校により不安を抱えている子や、朝からお腹が空いている子などさまざま。それぞれが学校や家庭で抱えている現状も見えてきました。

YUME GAKU 子どもたちの中の

”学び”への強い思い

始まりにあたり、地域の小学生約400人を対象に、どのようなことを学びたいのかのアンケートが行われました。アンケートには約100種類の学習を例に挙げたところ、三味線、琴、お茶、生け花など、たくさんの希望が出てきました。また、ほぼ全ての児童が複数の学習を希望している現状に、子どもたちの”学び”への強い思いと、やる気に満ちていることがわかりました。

YUME GAKU 地域課題は自分たちの目で

夢の学習を始めるにあたり、平成27年当時、貧困家庭や生活困窮家庭との教育格差や2025年の超高齢化社会、地域ごとのつながりの希薄化が問題になっていました。そうした中、まずは地域のさまざまな実態を知るとともに、多くの世代の方が集まれるような場がつかれないかと考えられました。